

教育目標: ○元気な子 ○やりとげる子 ◎考える子 ○思いやりのある子

めざす学校像: 保護者や地域から信頼される学校
めざす児童像: 子どもたちが主体的に学び活動する学校
めざす教師像: 教職員が協働して教育活動を創造していく学校

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標評価				成果指標評価			
				中間		最終		中間		最終	
				基準		基準		基準		基準	
豊かに表現する力を育てる教育の充実	考え、豊かに表現し、実践できる力の育成	情報を活用した主体的・対話的な学びの実現	○課題解決にGIGA端末や、既習事項、新聞、図書資料等情報を活用し、主体的・対話的な学びを実現する授業改善を図る。	○	○	4	授業改善をほぼ実施できた。(教員) 90%以上	○	○	4	課題解決力や情報活用能力が育ってきていると言える。(児童・保護者) 80%以上
			○「国分寺学」や各教科で協働的な学びや、校内・地域へ発信等、豊かに表現する学習活動の充実を図る。			3	授業改善をほぼ実施できた。(教員) 80%以上			3	課題解決力や情報活用能力が育ってきていると言える。(児童・保護者) 70%以上
						2	授業改善をほぼ実施できた。(教員) 70%以上			2	課題解決力や情報活用能力が育ってきていると言える。(児童・保護者) 60%以上
						1	授業改善をほぼ実施できた。(教員) 60%以上			1	課題解決力や情報活用能力が育ってきていると言える。(児童・保護者) 50%以上
		基礎学力の確実な定着 体力の向上	○算数習熟度別指導や東京ベーシックドリルの活用を通して、個別最適な学び方や既習事項等基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。	○	○	4	ほぼ実施できた。(教員) 90%以上	○	○	4	学ぶ楽しさを実感し、学習したことが定着したと言える。(児童・保護者) 80%以上
			○体力調査の結果をもとに、体育指導の改善や外遊びの工夫を推進し、運動の楽しさを味わわせる。			3	ほぼ実施できた。(教員) 80%以上			3	学ぶ楽しさを実感し、学習したことが定着したと言える。(児童・保護者) 70%以上
						2	ほぼ実施できた。(教員) 70%以上			2	学ぶ楽しさを実感し、学習したことが定着したと言える。(児童・保護者) 60%以上
						1	ほぼ実施できた。(教員) 60%以上			1	学ぶ楽しさを実感し、学習したことが定着したと言える。(児童・保護者) 50%以上
保護者・地域と連携し、国分寺市や地域を共に大切にする子どもの育成	保護者・地域と連携し、国分寺市や地域を共に大切にする子どもの育成	地域・保護者の人材、教育材を生かした、郷土に根差す学習活動の開発	○コミュニティ・スクール協議会等の機能を生かし「国分寺学」を中心に、地域と連携を深める教育活動を継続・発展する。	○	○	4	ほぼ実施できた。(教員) 90%以上	○	○	4	地域学習についての理解と満足度 (児童・保護者) 80%以上
			○「国分寺学」の推進や中学生ボランティア等、一中学区で小・中連携の取組を行う。			3	ほぼ実施できた。(教員) 80%以上			3	地域学習についての理解と満足度 (児童・保護者) 70%以上
						2	ほぼ実施できた。(教員) 70%以上			2	地域学習についての理解と満足度 (児童・保護者) 60%以上
						1	ほぼ実施できた。(教員) 60%以上			1	地域学習についての理解と満足度 (児童・保護者) 50%以上
		学校の教育活動について保護者・地域に理解を得る。	○保護者・地域からの情報や学校の課題を、コミュニティ・スクール協議会で検討し、内容を保護者・地域へ発信する。	○	○	4	ほぼ実施できた。(教員) 90%以上	○	○	4	情報発信の内容・回数等についての理解と満足度 (児童・保護者) 80%以上
			○学校からの発信方法について、紙、メール、ブログのよさを組み合わせ、分かりやすく積極的な情報発信を行う。			3	ほぼ実施できた。(教員) 80%以上			3	情報発信の内容・回数等についての理解と満足度 (児童・保護者) 70%以上
						2	ほぼ実施できた。(教員) 70%以上			2	情報発信の内容・回数等についての理解と満足度 (児童・保護者) 60%以上
						1	ほぼ実施できた。(教員) 60%以上			1	情報発信の内容・回数等についての理解と満足度 (児童・保護者) 50%以上
豊かな心を育てる教育の充実	人権尊重の精神を育成し、豊かな心を育てる教育の充実	子どもが安心して楽しく学校に通うことができる。 子どもが自分や友達、一人一人を大切にできる。	○特別支援や、スタートカリキュラムの理念を生かし、一人一人の多様性を認めた指導を行う。	○	○	4	ほぼ実施できた。(教員) 90%以上	○	○	4	学校へ安心して楽しく通うことができている。(児童・保護者) 90%以上
			○いじめの未然防止、早期発見・解決に努める。			3	ほぼ実施できた。(教員) 80%以上			3	学校へ安心して楽しく通うことができている。(児童・保護者) 80%以上
			○学校教育全体を通して道徳教育に取り組み、授業のキーワードを校内に掲示する。			2	ほぼ実施できた。(教員) 70%以上			2	学校へ安心して楽しく通うことができている。(児童・保護者) 70%以上
						1	ほぼ実施できた。(教員) 60%以上			1	学校へ安心して楽しく通うことができている。(児童・保護者) 60%以上
		自尊感情、自己肯定感の向上 学校や学級への帰属意識の高揚	○保護者・地域と連携し、学校・家庭・地域での適切な言葉遣いや挨拶のできる環境を整える。	○	○	4	ほぼ実施できた。(教員) 90%以上	○	○	4	他者を思いやる言動や、すすんであいさつができる。(児童・保護者) 80%以上
			○縦割り班活動等の充実を図り、活動を通して異学年と交流を深め、他を思いやる気持ちを育む。			3	ほぼ実施できた。(教員) 80%以上			3	他者を思いやる言動や、すすんであいさつができる。(児童・保護者) 70%以上
						2	ほぼ実施できた。(教員) 70%以上			2	他者を思いやる言動や、すすんであいさつができる。(児童・保護者) 60%以上
						1	ほぼ実施できた。(教員) 60%以上			1	他者を思いやる言動や、すすんであいさつができる。(児童・保護者) 50%以上
働きがいを感じ元氣な教職員	教育職員の業務や教育の質の向上のための時間的余裕を創出する。 ワーク・ライフ・バランスの充実や働きがい等を感じられる職場環境の改善を図る。	1箇月時間外在校等時間が45時間以下の割合を減らす。 ストレスチェックにおける高ストレス者の割合を減少させる。	○高学年教科担任制の授業の実施。	○	○	4	施策は、ほぼ有効である。(教員) 90%以上			4	本項目については、教員のみを対象に評価を行います。
			○校務分掌に基づくとともに、担任の持ち時数に配慮した講師配置の実現。			3	施策は、ほぼ有効である。(教員) 80%以上			3	
			○専科副担任の仕事内容の明確化。			2	施策は、ほぼ有効である。(教員) 70%以上			2	
			○校務分掌組織の整理と明示、職層に応じた役割分担の実現。			1	施策は、ほぼ有効である。(教員) 60%以上			1	
			○教職員も働き方の改善策を考えるとともに、働き方改革の施策の有効性について評価する。								